

資源循環・廃棄物研究センター
(循環・廃棄物研究棟)

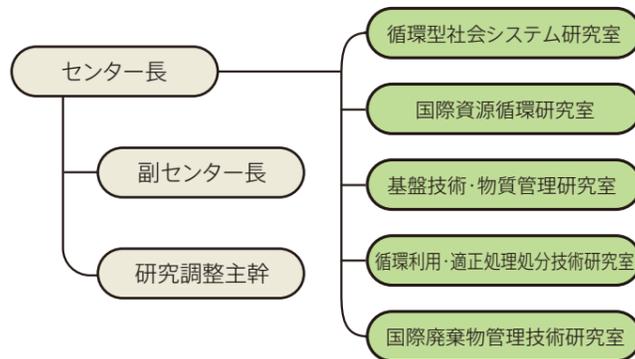


国立環境研究所構内図



- 交通
- つくばエクスプレスつくば駅より4km
バス約15分
 - JR常磐線ひたち野うしく駅より6km
バス約20分

組織図



国立研究開発法人 国立環境研究所
資源循環・廃棄物研究センター

〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2 Tel. 029-850-2372

<http://www-cycle.nies.go.jp/>

リサイクル適性(A) 本印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルにこの印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



2016031000

沿革

- 1938年1月 国立公衆衛生院発足
- 1974年3月 国立公害研究所発足
- 1990年7月 国立環境研究所に改称(国立公害研究所より)
- 1992年4月 国立公衆衛生院内に廃棄物工学部を新設
- 2001年1月 省庁再編により、環境省発足(廃棄物行政の一元化)
国立環境研究所内に廃棄物研究部を新設
(国立公衆衛生院廃棄物工学部を移管・統合)
- 2001年4月 独立行政法人国立環境研究所発足
循環型社会形成推進・廃棄物研究センターに拡充
- 2006年4月 循環型社会・廃棄物研究センターに改称
- 2011年4月 資源循環・廃棄物研究センターに改称
- 2015年4月 国立研究開発法人国立環境研究所に改称



資源循環・廃棄物研究センター

Center for Material Cycles and Waste Management Research

資源循環・廃棄物研究センターでは、資源の効率的な利用と低炭素社会や自然共生社会、安全・安心社会との協調の下に健全な物質循環が確保された循環型社会への転換を進めるとともに、生産・消費活動の負の側面である廃棄物問題を解決することを目標として研究を進めています。また、福島県の早期の環境回復や将来の大規模災害等に対する強靱で持続可能な社会づくりに資する災害環境研究に取り組めます。

資源の循環的・効率的な利用と、廃棄物等の環境負荷の低減に貢献

主な研究の紹介

2016年4月より始まる第4期中長期計画期間(2016~2020年度)では、環境研究の柱となる資源循環・廃棄物研究分野の基盤となる調査・研究から将来の政策課題を解決するための応用研究、また研究成果を社会実装に繋げる取り組みまでを一体的に実施します。また、福島支部で実施される災害環境研究についても協力して取り組んでいきます。

- 1 課題解決型研究プログラム**
 資源循環研究プログラム：
 持続可能な資源利用と循環型社会実現のための研究プログラム
- 2 基盤的な調査・研究**
 資源循環・廃棄物研究分野：
 異なる専門性の融合による知の創造と政策的および学術的基盤となる調査研究の推進
- 3 災害環境研究プログラム(福島支部への協力)**
 環境回復研究プログラム
 災害環境マネジメント研究プログラム

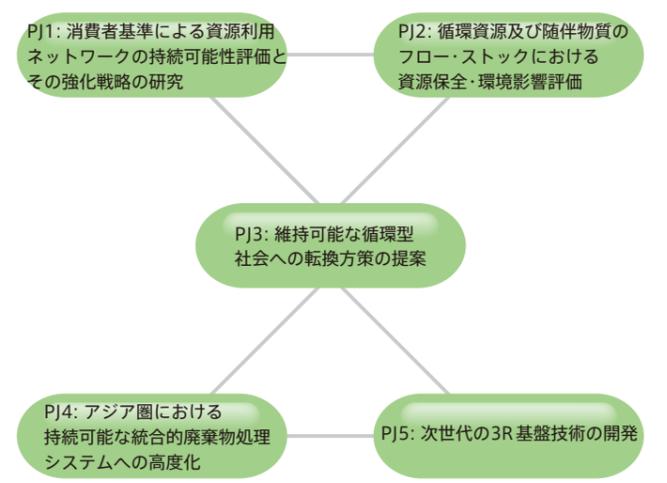
- 4 災害環境マネジメント戦略推進オフィス**
 災害環境マネジメント研究プログラム及び国内外の関連機関等との研究事業連携を通して、災害環境マネジメントの戦略指針づくりと戦略推進の基盤となるネットワーク体制の構築・運営と情報整備、災害環境マネジメントに係る実践的な専門性を有する人材の育成、災害対応の現地支援、災害環境マネジメント研究の国際拠点化と研究者育成などの事業を推進します。



1 課題解決型研究プログラム

資源循環研究プログラム：
 持続可能な資源利用と循環型社会実現のための研究プログラム

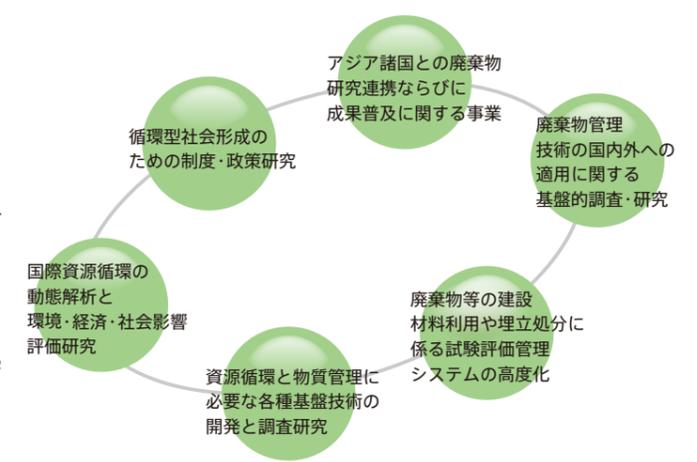
国際的な資源利用戦略等における将来のビジョン実現に向けて、資源利用に伴うサプライチェーン構造と、それを形成する要因を解明するとともに、モノやサービスのライフサイクルを通じた資源保全及び環境保全上の影響を評価し、持続可能な循環型社会への転換方策を提案します。また、わが国を含むアジア圏における持続可能な統合的廃棄物処理システムへの高度化、及び低炭素社会等と協調した3Rに必要な処理・資源化等の基盤技術と社会におけるシステム化に関する開発・評価を行います。



2 基盤的な調査・研究

資源循環・廃棄物研究分野：
 異なる専門性の融合による知の創造と政策的および学術的基盤となる調査研究の推進

社会経済活動に伴う資源利用と付随する環境負荷に関する地域から国際的スケールでの実態把握とメカニズムの解明を行い、持続可能な循環型社会の評価手法と転換方策を提案するための研究を実施しています。また、国内外における廃棄物及び循環資源の適正な処理・処分・再生利用技術を開発・評価し、資源循環と物質管理に必要な各種基盤技術の開発および評価も行っています。



施設の紹介

循環・廃棄物研究棟
 茨城県つくば市



廃棄物の発生抑制、資源化や適正処理、リスク制御等に関して総合的に推進するための基幹施設。

バイオ・エコエンジニアリング研究施設
 茨城県稲敷郡美浦村



国内外の水環境の保全・再生と廃棄物・資源循環問題を解決するための国際的活動拠点。

福島支部
 福島県田村郡三春町

放射性物質により汚染された環境の回復・創造研究を実施するため、福島県環境創造センター研究棟に福島支部を2016年4月開所。

